

教科名	理科	単位数	2（2年間で計3）	単位
科目名	物理基礎	対象学年・科	3年全 （化学基礎との選択）	組
教科担任	太田 清和			
教科書 副教材等	改訂 新編 物理基礎（物基312） 東京書籍			

指導目標	<p>物理の基本法則を学び、自然現象の中にある規則性を理解させる。そのために必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、以下を基本方針とする。</p> <p>① 教科書の例題や練習問題を生徒が自力で解けるようにさせ、可能な限り教科書の全分野を学習させる。</p> <p>② ①の実施にあたり、理解が早い生徒に他の生徒に教えさせたり、自分の解き方を発表させたりする時間を設け、生徒の自発的な取り組みを促す。</p> <p>③ 可能な限り具体物を利用した実験（演示でも可）を実施する。</p>
------	---

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	1編 物体の運動とエネルギー	20	1章 直線運動の世界 2章 力と運動の法則 上記項目を理解させる。
	二 学 期	1編 物体の運動とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー	30	3章 仕事とエネルギー 1章 熱 2章 波 上記項目を理解させる。
	三 学 期	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	20	3章 電気 4章 エネルギー 上記項目を理解させる。
評価の観点 ・方法	<p>以下を基本方針とし、総合的に評価する。</p> <p>① 定期考査（80%）、出席状況・ノート点（20%）を目安とする。</p> <p>② 考査の難易度は、指導目標①と同程度とし、自筆ノートの持ち込みを可とする。</p> <p>③ 評定平均が3～3.5以上（絶対評価）を目安とし、きめ細かい指導を実現する。</p>			